

令和2年

第20回教育委員会会議 議事録

秋田県教育委員会

令和2年第20回教育委員会会議 議事録

1 期 日 令和2年11月24日 火曜日

2 場 所 教育委員室

3 開 会 午前10時

4 閉 会 午前10時25分

5 出席者 教育長 安田 浩幸

委員 岩佐 信宏

大塚和歌子

吉村 昌之

6 説明のための出席者

教育次長 小西弘紀

教育次長 石川政昭

総務課長 片村有希

教職員給与課長 真田郁朗

高校教育課長 伊藤雅和

7 会議に付した事項

議案第37号 市町村立学校職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則案

8 可決した事項

議案第37号 市町村立学校職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則案

9 報告事項

- ・令和3年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について
- ・秋田県立能代科学技術高等学校の校章図案について

10 会議の要旨

【安田教育長】

それでは、ただいまから令和2年第20回教育委員会会議を開催いたします。

本日の議事録署名員は、3番大塚委員と5番吉村委員にお願いします。

なお、2番伊藤委員と4番伊勢委員は欠席しております。

【安田教育長】

はじめに、議案第37号「市町村立学校職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則案」について、教職員給与課長から説明をお願いします。

【教職員給与課長】

議案第37号「市町村立学校職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則案」説明概要

- ・一般職の国家公務員に準じ、期末手当に係る在職期間及び勤勉手当に係る勤務期間について所要の規定の整備を行う必要がある。
- ・県の人事委員会規則は同様の整備を行っており、市町村立学校職員の給与の整備も同様の整備を行う。
- ・本規則は令和2年11月30日から施行する。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【教職員給与課長】

公布日についてです。資料2ページに令和2年11月24日とありますが、これは教育委員会会議に提出した日が令和2年11月24日ということで、公布日は令和2年11月27日を予定しております。

【安田教育長】

特になければ、表決を採ってよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

では、表決を採ります。

議案第37号を原案どおり可決することよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

それでは、議案第37号を原案どおり可決します。

次に、報告事項の一つ目「令和3年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項「令和3年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について」説明概要

- ・10月31日現在の公立全日制、公立定時制高校及び私立高校のデータをまとめたもの。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、就職試験の日程が例年より1か月遅れている。
- ・この時期としては、例年に比べて就職内定率が低く、未内定者が多い状況となっている。
- ・公務員を除く公立全日制の就職内定率は、前年9月末と比較すると、10.3%ほど高くなっている。

- ・今年度はスタートが1か月遅れている分、各事業者にはなるべく早く動くように配慮していただいている。
- ・未内定者については、関係機関と連携しながら生徒一人一人の進路の実現に向けて、引き続き指導を充実させていきたい。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【岩佐委員】

先ほど公立全日制の就職内定率で、実質上は前年よりも10.3%ほど良いとの説明がありましたが、これはどの数字が加算されているのでしょうか。前年度は90.6%であるため、63.5%に10.3%を加算したという解釈でよろしいのでしょうか。

【高校教育課長】

資料1 ページ目の上段の表で、県全体の就職内定率は63.5%です。資料には示してありませんが、前年の9月末時点のデータでは、51.2%でした。そのまま正確に比較することはできませんが、例年より1か月遅いスタートとなりましたので、1か月前のデータと比べようと思ひ、比べてみたところ前年度よりは良かったということです。

【岩佐委員】

分かりました。これからの見込みもあまり問題はないだろうという認識ですか。

【高校教育課長】

はい。そう思っております。

【吉村委員】

今の質問に関連して、これからの見込みも大丈夫ではないかということですが、テレビ等で見ると求人関係であまり良い情報は入ってきていないという印象を受けます。現在の求人等を考えて、未内定者が応募できる見込みなどをちゃんと立てられていますか。

【高校教育課長】

たしかにご指摘の通りだと思います。我々も全て安心しているわけではなく、心配な面はあります。ただ、業種によってかなり違いがあります。やはり、旅行業や観光業はなかなか厳しいという状況です。そういったところを希望している生徒は苦勞することがあり得ます。状況を見ながら様々な可能性を考えていきたいと思ひます。

【安田教育長】

求人倍率自体はそんなに大きく下がってはいませんよね。

【高校教育課長】

はい。ただ、それも業種によります。

【大塚委員】

県内就職の割合が何%か増えているという状況は良いことだと思います。1か月試験が遅いからまだ結果が出てないということもあると思いますが、今のコロナの状況で先が見えないというか、新しい人を雇えないという状況にある中では、なんとなく不安があります。今後の予測はどうでしょうか。まず大丈夫だということでしょうか。

【高校教育課長】

大丈夫だということでもないですが、様々な不安要素はあります。状況が急変することもあると思います。意外と子どもたちはその辺りは慎重に考えております。様々な影響は出ていると思いますが、例えば、資料1ページの上段の表で、卒業予定者数は381名減っており、そのうち就職希望者数は308名減っております。就職希望者が全体の大体3割と考えますと、就職希望者が約300名減っているということは大きいと思います。各高校からの聞き取りによりますと、比較的この不安定な状況の中で、就職するのではなくて、一度専門学校に行つて色々な資格などを身につけてからという生徒がいるということをお聞かせしております。

【安田教育長】

他にございませんでしょうか。

特になければ報告事項の二つ目「秋田県立能代科学技術高等学校の校章図案について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項「秋田県立能代科学技術高等学校の校章図案について」説明概要

- ・7月～8月に公募したところ、県内外の168名から198点の応募があった。
- ・同窓会や学校関係者の意見、生徒や保護者を対象としたアンケート結果を参考に選考した。
- ・校歌は現在作曲を依頼中で、年度内に発表する予定である。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【吉村委員】

参考までに教えてください。青木氏が補作されたということですが、具体的にどこをどう補作したのでしょうか。

【高校教育課長】

補作ですので、大きく変わってはいません。原案と比べると、外側の輪の部分の文字が鮮明になっています。原案では少し文字が小さめでしたので、大きくはっきりとした文字に補作されました。校章は校舎に掲げる他、制服に付けるバッジのような形になることを想定しております。

【大塚委員】

色はネイビーですか。黒ではないですよ。

【高校教育課長】

はい。黒ではないです。深い青です。

【大塚委員】

部活動のTシャツなど、今後様々な所にこの校章が出てくるかもしれないですね。

【高校教育課長】

様々な印刷物にもこの校章が出てくると思います。

【大塚委員】

スタイリッシュで、まさに科学技術高等学校という感じですね。

【安田教育長】

予定された案件は以上ですが、他に何かございませんでしょうか。

特になければ、以上で本日の会議を閉じます。

お疲れさまでした。